



写真1 上野の西郷隆盛像

上野の西郷隆盛像

上野の西郷隆盛像は、上野恩賜公園^{※1)}の入り口近くにある。近代の偉人の銅像と言えば、洋装か軍服姿をイメージするが、「最後の真の侍」と呼ばれる西郷とは対照的に、恰幅の良い着流しで愛犬を連れ、兎狩りに向かう姿に象られている。

幕末期の1868年(慶応4年)の上野戦争^{※2)}で、西郷は手柄を立てたため、薩摩藩出身にもかかわらず、上野に像を建立されるに至った。明治維新の功労者とはいえ、天皇の背いた反逆者の在りのままの姿は反政府運動を引き起こす種になりかねないという政治的な意図もあり、敢えて平凡な日常を想起させる散歩姿になったといわれている。

西郷像は、上野以外に2体、いずれも生まれ故郷の鹿児島県に建つ。没後50周年と100周年の記念に建立された。前者は初代ハチ公の作者である彫刻家安藤照により凛々しい軍服姿に、後者は彫刻家古賀忠雄により着物姿に、建立時の時代背景を反映し、それぞれ異なる姿に制作された。

没後20年に建立され、西郷像では最古である上野の西郷像は、親しみやすい姿から「上野の西郷さん」と呼ばれ、今では上野の象徴的なシンボルとなり、周辺には多くの観光客や待ち合わせをする人々で賑わっている。

※1) 日本の都市公園を代表する都立公園。文化・観光の拠点である他、日本を代表する桜の名所となっている。また不忍池の蓮(写真2)は美しい水辺の景観を見せるなど、年間をとおして植物を楽しめる。昨年開園150周年を迎えた。

※2) 戊辰戦争の戦闘の1つ。江戸上野(東京都台東区)において彰義隊ら旧幕府軍と薩摩藩、長州藩を中心とする新政府軍の間で行われた戦いである。慶応4年5月15日(1868年7月4日)。

<参考>

上野観光連盟公式サイト

<https://ueno.or.jp/>

公益財団法人東京都公園協会

<https://www.tokyo-park.or.jp/profile/>



写真2 不忍池の蓮(7月頃)